



# アフガニスタン人が語る “対テロ戦争”の真実と平和への思い

2001年9月11日の“同時多発テロ事件”から16年が経ちました。あの事件をきっかけにアフガニスタンで始まった“対テロ戦争”が始まってから10月7日でまる16年となります。米国史上最長となったこの戦争でいったい何が達成されたのか？テロはなくなったのか？“テロ対

策”の舞台となったアフガニスタンの市民の暮らしはどうなったのか？ 現地の実際の様子とはなかなか伝わってきません。そこで、今回はNGOのスタッフとして長年人道支援に携わるサビルラ氏を招き、“対テロ戦争”の実相と平和への取り組みについて話を伺います。

**プロフィール** JVCアフガニスタン副代表  
**サビルラ・メムラワル**  
(Sabirullah Memlawal)



1976年生まれ、ナンガルハル県のメムラ村出身。娘1人息子3人がおり、親族30人を超える大家族で住んでいる。アフガニスタンでの内戦中、難民となってパキスタンに移住。パキスタンのNGOや会社等で労務管理の職を経て、2004年からJVCに参加、2016年より現職。現地で活動するNGOの協議会である“ACBAR”の理事も務めている。かつては武器に頼ることしか社会を生き抜く道がないと信じていたが、JVCでの活動を通じて徐々に対話を通して平和構築を試みる可能性を見出すようになる。個人的にも自身の家族・親族や友人たちと協力し、子どもたちにおもちゃの武器を捨てるように呼びかけたり、教育を奨励したりする平和教育キャンペーンを実施している。

**主催：穴山公民館、穴山町ふれあいホール運営協議会**

**協力：特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター（JVC）、**

**Cafeおちゃのじかん**

\*日本国際ボランティアセンター（JVC）：インドシナ難民の救援を機に1980年に設立。アジア・アフリカ・中東、そして東日本大震災被災地など10カ国で支援活動を行っている国際NGO。農業の活動などを通して農村の暮らしを支える「地域開発」、紛争地での医療支援などを通して人々の命を守る「人道支援」、そして現場の声をもって政府や国際社会に働きかける「政策提言」を活動の柱としている。ホームページ <http://www.ngo-jvc.net/>

2016年**10月2日** 日  
午後**3:00**～**5:00**  
**穴山町ふれあいホール**  
(穴山公民館)

荏崎市穴山町4487-1(駐車場あり)

**参加費無料**

\*使用言語は英語、逐次通訳が付きまます。



◆ お問い合わせ ◆

おちゃのじかん (清水) Tel: **0551-25-2321**

穴山公民館 (館長：嶋津) Tel: **0551-25-5813**